

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 449

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				出張時の旅費等	
		再生紙等購入			384
		事務機リース代・消耗品購入等			695
		事務機の保守委託			146
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	環境清掃部職員の出張旅費の支給や事務用品類の購入、事務用機器のリースなど部の庶務事務をとりまとめて行い、部内各課の円滑かつ効率的な事業運営に寄与しました。 また、昨年度と同様、用紙の裏面使用の徹底などにより、再生紙の使用量を削減することができました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(今後可能性あり)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="推進"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度に清掃事業が移管され、職員数が大幅に増加しました。 平成19年度から庶務事務システム、平成20年度からは新財務システムが導入され、庶務事務や会計事務の効率化が進められています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民からの効率的な区政を望む意見・要望も年々多くなっています。 また、東日本大震災により、区全体の歳出増を賄うため、一般管理費についてはより一層経費の削減が求められます。
	今後の予測	景気の低迷は、いましばらく続くことが予想されることから、経費のより一層の縮減が必要と考えています。
	評価と課題	平成22年度は、紙使用量の節減などにより対前年度で76.4%とコスト削減に努めることができました。 今後も紙等消耗品費の経費節減に努めるとともに、システム等を活用し、さらなる事務の効率化を進めていく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	予算のほとんどが部内職員の旅費、事務費リース代、消耗品購入費であるため、今後も一定額を確保していく必要があります。 庁内イントラネット等を活用することで部内の連絡調整の円滑化及び庶務事務の効率化を進めるとともに、紙使用量の削減をより進めていきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 450

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		審議会委員報酬	21	人	1,068
		審議会運営事務費			287
		その他 ()			0
(2) 事業実績		平成22年度は、5回の環境清掃審議会を開催し、積極的な議論を行っていただきました。特に、京王線連続立体交差化及び復々線事業と杉並清掃工場建替事業に関する環境影響評価に対しては、地元の事情を踏まえた多くの意見・指摘をいただき、区長意見に反映させました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	十分に実現している	NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
(3) 協働等の形態		(4) 協働等の今後のあり方	
協働[事業協力]		実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	環境先進都市を目指す杉並区のさまざまな課題への取組みを推進する役割を担っています。平成22年度は、任期満了にともなう委員の改選を行いました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の環境清掃問題に関する関心はますます高まりを見せており、環境清掃行政に関する区民からの要望・苦情は多いものの、審議会の運営そのものに関する意見はありません。
	今後の予測	東日本大震災の発生以降、大気や水などの生活環境への関心や不安が大きくなっています。今後は、環境清掃審議会での議論や意見が出されることが考えられます。
評価と課題		審議会の内容は定例的な報告が多くなっています。今後は部の施策全般を説明し、大きな視点からのご意見をいただくなどの工夫を行ってまいります。特に、基本構想や総合計画の策定に向けては、環境清掃審議会委員の意見を聴取してまいります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
専門的な意見から一般的な区民意見までをバランスよく区の環境清掃分野の施策に反映していくために、環境清掃審議会の委員構成については、多方面からの意見を集約できるような構成となるように考慮してまいります。 また、幅広く意見をいただくために誰にも分かりやすい資料の作成と説明に最大限努めてまいります。			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		環境保全の普及啓発			款	6	項	1	目	1	事業	6	整理番号	453		
担当部課名		環境清掃部環境課			係名	庶務係			連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	449			
上位施策No・施策名		16 環境施策の枠組みづくり			予算事業区分								既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	45	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等	(1) 環境基本条例 (2)							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○住宅都市杉並において、区民の環境問題に対する意識をより一層高めていく。							活動指標名(式)	(1) 環境白書配布部数 (2)						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○環境基本計画進捗状況調査結果の公表や環境白書の発行、環境パネル展の開催を通して、区民に杉並区の環境の現状や課題の内容をお知らせする。							成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 環境基本計画の目標達成率 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 生活環境全般をよいと思う人の割合 算定式・指標の説明等						
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)	①	部	450	900	200	500	300			60.0					
	活動指標(2)	②														
	成果指標(1)	③	%	89.1	100.0	98.2	100.0	97.3			97.3					
	成果指標(2)	④	%	87.7	95.0	91.2	95.0	91.4			96.2					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	8,234	2,431	550	2,273	903			22年度予算執行率%	39.7				
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0					特記事項 環境白書を市内印刷で作成することにより、経費を削減しました。					
	(内) 委託費	⑦	千円	7,875	68	14	24	0								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00								
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	9,050	8,879	8,879	8,920	8,920	0						
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	17,284	11,310	9,429	11,193	9,823	0							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	38,409	12,567	47,145	22,386	32,743								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0									
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0									
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0										
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0										
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	17,284	11,310	9,429	11,193	9,823	0							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 453

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		環境基本計画改定				812
		普及啓発事業費等				91
		その他 ()				0
(2) 事業実績		<p>区では、「杉並区環境基本計画」を社会環境の変化に的確に対応した内容としていくため、区民の皆様や環境清掃審議会からご意見をいただいた上で、平成22年5月に改定しました。併せて、計画の内容を区民・事業者の皆様に分かりやすくお伝えするため、概要版を作成しました。</p> <p>また、環境白書の内容を大きく見直し、これまで別途作成してきた「環境基本計画実施状況報告書」と統合した形に変更しました。</p>				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している ▼	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ) ▼	
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] ▼	(4) 協働等の今後のあり方 推進 ▼	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>環境・公害に対する区民の意識は、身近な環境問題から地球規模の環境問題にまで幅広く混在しているため、啓発内容も時代の変化に合わせて変えてきました。</p> <p>また、環境基本計画については、毎年度進捗状況調査結果を公表し施策の推進に活かしています。</p>
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>一般的には環境分野に対してより幅広い啓発活動が求められていますが、当該事業についての要望等は特にありません。</p>
	今後の予測	<p>多くの区民から東日本大震災発生による環境悪化を懸念する声が届いているため、新たな環境施策や環境基準の見直しの検討が必要です。</p>
評価と課題		<p>環境白書は、環境基本計画と連動した内容とし、写真やグラフ・図を効果的に活用するなど工夫をしましたが、環境清掃審議会や区議会からは、より一層の改善を求められています。</p> <p>多くの人に環境の現状をお伝えし、区民とともに多様な環境配慮行動に取り組んでいくため、よりわかりやすい内容となるように今後とも必要な改善を図っていく必要があります。</p>

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更	○ 実施方法の変更		
	<p>環境基本計画は平成25年度を最終年度としていますが、現在策定中の基本構想・総合計画に合わせて、必要に応じて再改定の準備を行っていきます。</p>					

特記事項	
------	--